

# 長尾小学校

# よい子のきまり

## 1. 学校の行き帰りのやくそく

### (1) 登下校

- ① 朝は、7時45分～8時25分の間に、学校に到着するように登校しましょう。また、特別な理由がないかぎり、歩いて登校しましょう。
- ② 登下校では、必ず通学路を通りましょう。また、横断歩道では、必ず一度立ち止まり、手をあげて車を確かめてわたりましょう。
- ③ 下校の途中で友達の家に立ちよったり、お店などによったりしないで、まっすぐ家に帰りましょう。

## 2. 学校生活のやくそく

### (1) 時間・時刻のやくそく

- ① 学校の時刻表を守って、学習、遊び、仕事の区別をはっきりつけましょう。
- ② 特に、朝の始まりや休み時間の終わりのチャイムを守りましょう。

### (2) 体育館や特別教室の使い方

- ① 必ず、担任の先生のゆるしをもらってかぎを取りに行きましょう。
- ② 誰もいない部屋には、勝手に入らないようにしましょう。使い終わった特別教室のカーテンは開けておきましょう。

### (3) ろうか・階段の通り方 バランダの使い方

- ① 上ぐつと下ぐつの区別をきちんとつけましょう。ろうかは左側を歩きましょう。
- ② 用事がないのに、職員室前のろうかを通ったり、バランダに出たりしないようにしましょう。
- ③ 4～6年生は、下ぐつのときは校門側から、上ぐつのときは、運動場側から出入りしましょう。

### (4) そうじの時間のやくそく

- ① 自分がそうじする場所がきれいになるように、もくもくそうじで、すみずみまでがんばりましょう。

## 3. 遊びのやくそく

- ① 天気のよい日は、運動場で遊びましょう。運動場では、野球やソフトボール、ボールをける遊び、たたきつける遊びなどは、危ないので、やめましょう。また、すべり台は1年生から4年生まで、ブランコは1年生と2年生、バスケットゴールは3年生から6年生までが使えます。
- ② 先生の目のとどかない場所や危ない場所では遊ばないようにしましょう。  
(玄関前や体育館のまわり、非常階段、駐車場、バランダなど)
- ③ まごころ広場では、走りまわらないようにしましょう。
- ④ 雨の日は、室内でしずかに遊びましょう。

#### 4. 持ち物や服装のやくそく

(1) 持ち物 (『学習用具のきまり』を守りましょう。)

- ① 自分の持ち物には必ず名前を書いて大切に、整理整頓しましょう。
- ② ハンカチは必ず持ち歩きましょう。
- ③ 学校に必要なもの(キーホルダーなど)や必要な文房具、お金や高価なもの、危険を伴うものは持ってきません。お守りはランドセルの中に入れておきましょう。
- ④ 携帯電話やスマートフォン、GPS端末等は学校に持ってきません。どうしても必要な場合は、おうちの人と先生の許可をもらい、携帯電話とスマートフォンは必ず職員室にあずけます。(GPS端末はランドセルから出しません。)

(2) 服装

- ① 学校では、名ふだをつけましょう。  
(朝、学校でつけ、帰りにはずします。1年生はうら返しにしてつけたまま帰ります。)  
1年 白 2年 ピンク 3年 橙 4年 青 5年 黄色 6年 黄緑
- ② 体育の学習では、必ず体操服を着ましょう。体操服の下から洋服やタイツが見えないようにしましょう。
- ③ 給食当番や体育の学習のときには、かみは肩につかないようにしましょう。つく場合は、ゴムでとめたり、帽子の中に入れておきましょう。
- ④ 防寒具(手袋、マフラーやネックウォーマーなど)は登下校の時のみ身につけてよいです。身につけたり外したりするのは、教室でしましょう。ただし、耳あては登下校中も身につけません。カイロはポケットから出しません。
- ⑤ 手首や足首にミサンガやブレスレットなど必要なものをつけません。

#### 5. 放課後や休みの日のやくそく

(1) 外出するとき

- ① 夕方は、暗くなる前までに、家に帰りましょう。
- ② 校区の外には、子どもだけでは出かけません。

(2) その他

- ① 友達どうしでお金やカード、ゲームソフトなどの貸し借りをしたり、あげたり、交換したりしてはいけません。
- ② 子どもだけで、池や川で魚釣りや水遊びをしません。
- ③ 花火など火を使う時は、必ず家の人に言って大人といっしょにします。
- ④ 自転車に乗る時は、交通ルールを守り、二人乗りや飛び出しなど、危険な運転をしません。また、ヘルメットをかぶりましょう。
- ⑤ マンションの駐車場や道路など、人のめいわくになる場所では、遊びません。
- ⑥ 危ないことやこまったことが起こったら、すぐに大きな声で助けを呼んだり、近くのお家に逃げたりしましょう。
- ⑦ 外で出たごみは捨てずにもち帰りましょう。きれいな校区にしましょう。

※ あくまでも基準です。子どもたちが気持ちよく生活できるように、ご協力をお願いします。  
※ 教職員転出の際のお心遣いは不要です。よろしくお願いします。